

アスリートアンバサダー活動  
インタビュー第4弾  
SON アスリート



インタビューをするアスリートからの自己紹介

田中晴樹さん：所属地区は SON・福岡で、テニス競技をしています。よろしくお願いします！

山野紗弥さん：SON・熊本で、バドミントンをしています。お願いします！

安田：それではこれからインタビューを始めさせていただきます。よろしくお願いします。

一同：よろしくお願いします。

藤本 —SO 歴は何年ですか？

山野さん：はい、SO 歴は 13 年になります。

藤本：13 年か！次、田中さん。

田中：はい、私は SO 歴は、9 年目になります。

藤本：9 年目か！はい、わかりました。ありがとうございます。



安藤 —どうして SO に入ろうと思いましたか？

田中：SO に入ろうと思ったのはですね、元々は私の親がテニスをしてみないかということで、当時入団した時は、小学生の時だったんですけど、スペシャルオリンピックスだということを知らなくて、入ってまもなくして、世界大会にも出れる組織なんだと気づきまして、今でもスペシャルオリンピックスを頑張っている状況です。



安藤：はい、ありがとうございます。次山野さんお願いします。

山野：はい。SOをはじめて知ったのは、イルミネーションが行われたときにそこで始めて知りました。その後にお父さんがコーチを取ったので、その流れで私もアスリートとして入りました。

安藤：わかりました。ありがとうございました。

## 安田 ー学生の頃は、それぞれテニスとバドミントン以外でなにか部活をしていましたか？

田中：部活動はやってたというわけではないんですけど、女子バレーボール部のマネージャーをやってたんです。

安田：おおマネージャー！なるほど、ありがとうございます。じゃあ、山野さんお願いします。

山野：部活はバドミントンだけです！

安田：わかりました、ありがとうございます。



## 藤本 ー次フリーの質問ですが、あこがれている会いたい芸能人は誰ですか？

山野：芸能人、、今毎日月曜日から金曜日まで、ラジオを聞いてて、「SCHOOL OF LOCK」っていうラジオがあるんですね。その校長先生が、GENERATIONSの小森隼さんなので、小森校長に会いたいです。

安田：イケメン！（笑）

一同：（笑）

山野：（笑） そうそうイケメン！

藤本：次、田中さん。

田中：いやーそうですよね。これはちょっと言えないですね。けっこう僕、会いに行きたいんですけど、ライブとかにはちょくちょく行ってますね。誰かはちょっと言えないんですけど。

安藤：そのライブっていうのは、どなたかは言えますか？言えなかったら全然いいですよ。

田中：ちょっと言えないですね。

安藤：はい、分かりました。





藤本 –SOでの辛かった思い出はありますか？  
楽しい思い出はありますか？

田中：そうですね、ちょっと話が長くなるかもしれないんですけど、自分で考えていくつか出したんですけど、全部言ってもいいですか？

藤本：大丈夫です！

田中：はい、まず初めての出来事だったんですけど、今から4年前に行われた2017年のSON・福岡地区大会のお話になるんですが、SON・福岡地区大会はオリンピック同様4年に1度開催されるんですけど、ナショナルゲームを経験した皆さんは分かるかもしれないですが、大会は大体、競技2日間行われていて、1日だけ開会式、2日目3日目を大会競技としてるんですけど、その大会は1泊2日で、1日目を予選、2日目を決勝とする予定だったんですが、主催者側の都合によって、1日で勝負するっていう話になったんですよ。で、1日だけで勝負するっていうことで、ものすごく練習頑張ったなというのがありましたね。

2つ目が、SONのYoutubeにも残っている、ゴリサーノアワードっていう賞皆さん見ましたか？

安田：あー！愛史さんも出たやつ。

藤本：あー！僕がやりました。

田中：Youtubeをご覧の皆さんは、動画の14分38秒目に、私がお祝いコメントを言っているシーンがあるんですけど、そのコメントのシーンを撮影する時に、途中で噛んだり詰まったりしたんですよ。これ撮影するのに、20回くらいかかったんですよ。

藤本：あ、20回もかかったんだ。

田中：そうなんですよ。何回もあたまで噛んでしまったり、最後の最後で噛んでしまったり。ようやく完成したのが、あの映像だったんです。で、皆さんにひとつこれを機に言いたいことがあって、今回撮影をしたあの場所なんですけど、福岡市にあるマリンワールドっていう場所で撮影したんです。安藤さんなら分かるかもしれないですけど。

藤本：マリンワールド？

安藤：はいはい、あそこね！分かります。



田中：福岡市にある海沿いの場所で、ヤシの木もあるからって理由で撮影しようという話になって。これが2つ目になりまして、3つ目は、冒頭でも話した入団当初のお話になるんですけど、当時テニスをやってた環境に問題がありまして。最初練習環境が、砂のコートだったんです。砂でやるのと芝生でやるのとボールの弾み方も全然違っていて、僕が練習してたのはほとんど砂のコートで、芝生でやったのが大体公式戦程度。ということで、何の試合だったかは覚えてないんですけど、絶対に公式戦やる時は、必ず1ゲーム目は調子が上がりませんでした。そんな苦労したというお話でした。すみません、長くなりましたけど。



藤本：大丈夫です。ありがとうございます。次、山野さん。

山野：はい。辛かった思い出はあまりなくて、楽しかったのは、日々のプログラムもそうだけど、全国大会に行った時に、友達と会って話せるのが一番楽しかったです。

安田：分かる！！そうだね！

田中：あー山野さん分かりますそれ！

アスリートアンバサダーの皆さんすみません、実は私さっき言った SO テニスの時に、熊本地区大会に参加しまして、そこめちゃくちゃ良かったですよ、ほんとに。

藤本：え！！ほんと？

田中：はい。その時テニス地区大会を行う時の開会式なんですよ。開会式がものすごい数だったんですよ。山野さんは開会式参加したことはありますか？ものすごい数ですよ。

山野：はい、あります！うん！

藤本：何人くらいだったんですか？

田中：何人だったんでしょうね？数えきれないですよ。

山野：うーん、けっこう人はいたと思う、その時は。



安田 ー僕たちアスリートアンバサダーは共通でバスケットをやっているんですが、それぞれバドミントンとテニス以外でなにかやってみたい競技はありますか？

山野：今 SO の中で、バドミントン以外にも陸上をやっているんで、その他にやってみたいのだったら、競泳はやってみたい。

安田：競泳！元々僕も競泳のアスリートです！金づちだったんですぐ辞めました、これまじの話ですよ（笑）。

一同：（笑）

山野：金づちで辞めたんだ（笑）。

田中：バスケを始めたきっかけは何だったんですか？

安田：バスケ始めたきっかけは、おじさんがいるんですけど、おじさんがバスケットをやっていて、その影響もあって始めたっていうのもありますし、ちょうど自分がバスケットを始めた年に、福岡にも熊本にもプロバスケットチームがあると思うんですけど。

田中：ありますね。



山野：うん、あるある！

安田：ありますよね。ちょうど島根にもプロバスケットチームができた年に僕もバスケットを始めた年でもあったので、それがきっかけのひとつでしたね。それでは、田中さんお願いします。

田中：もう話が進んでいるところで、今度陸上のプログラムに参加する予定です。

藤本：ちなみにやりたい希望の種目はなんですか？

田中：そうですね、陸上はまだどんな競技があるのか見たことがないので、愛知大会とか福岡大会の公式記録を見た時には、100Mとかそんな競技があったような感じしますね。

安田：100M あるね！50M もある。

山野：ボール投げとか！

田中：ほう、ボール投げ！

安田：陸上か、いいなあ。僕も足速くなりたかったわ。

田中：安田さんになんか100M 合いそうですよ！バスケってバンバンバンって激しく動きそうですよね。

安田：そうですね、バスケ激しいですよ！けど俺体力ないんで（笑）。



## 藤本 —なぜ、アスリートストーリー発表会に参加しようと思いましたか？

田中：アスリート発表会に出ようと思った1番の理由なんですけど、当時SOの練習期間とかプログラムが中止になっていて、SO とかの立場であまり緊張する立場がなかったんですよ。それで緊張する立場が欲しいなと思って。SO で特に練習とか試合もなかなかなかったので、やっぱり緊張する立場が欲しいなと思って、やるしかないということで参加しました。

藤本：わかりました。ありがとうございます。では、山野さん。

山野：私は、熊本の事務局長から声をかけていただいてそこから始まりました（笑）。「出てみない？」っていう一言から始まって、「出ます！」って言って。ふたつ返事で返しました。

安田：おお！さすが！

藤本：事務局から声かけたんですか？

山野：うん、事務局から声がかかった！

藤本：ああそっか！



藤本 ー皆さんは音楽の中で、パワーソングはなんですか？

田中：パワーソングきた！いい質問！

山野：(笑) パワーソング？

安田：いつも聞いている曲でもいいよ。

山野：LiSAの「紅蓮華」。

一同：ああ！

安田：ザ・最近！



藤本：ちなみに僕のパワーソングは、AKB48の「光と影の日々」です。

山野：ふーん！

安田：AKB好きだね愛史さんね！

藤本：好きなんです！じゃあ、田中さん。

田中：すみません、今曲を調べていてちょっと待ってくださいね。えっと、、、外国の曲になるんですけど、アニメ「ベイマックス」に使われた、Greek Fireで「Top Of The World」という曲なんです。練習前とかでよく聞いている曲です。

一同：へー！

安藤：たぶん知っているかもしれない！

田中：一度聞いてみてください！めちゃめちゃいいんですよこの曲が！英語なんですけど。

安田：ベイマックスの曲ね！OK、聞いてみる！

田中：ストーリーを言ってもいいですか？スポーツの試合会場で流れてた曲なんですけど、なんだろうと思って調べてみたらこの曲にたどり着いたんですよ。その試合は2017年に福岡ソフトバンクホークスが、プロ野球の開幕戦の時にセレモニーをやっていて、照明が落ちて、VTRが流れた時にその時に曲が流れてたんですよ。その曲が気になっていて調べてみたらこの曲にたどり着いたという話です。ほんとにいい曲なので、ぜひ調べてみてください！日本語の歌詞がいいんです！

安藤：ベイマックスのなんていう??

田中：アーティストが「Greek Fire」。曲名が、「Top Of The World」です！

安藤：はい、わかりました！



安田 ーアスリートストーリー発表会の原稿を考えたと思うんですが、  
どれくらい時間がかかりましたか？あと、どれくらい発表の練習をしましたか？

安田：これは、僕の体験談を話させてもらおうと、田中さんも山野さんも今回の大会出られたと思うんですけど、僕も実をいうと、前回愛知で開催されたナショナルミーティングでやった時優勝した経験があって、僕も原稿を考えたり練習したりしたんですけど。ちなみに僕は5時間くらい原稿書くのにかかって、練習はどれくらいしただろう。。1週間くらい練習しました。おふたりはどうでしたか？

田中：僕は、原稿については、文章が完成してから私の親に見てもらって「これでいいんじゃない」というところまでかかる期間は、2、3日はかかりましたね。

山野：私も2日ぐらいだと思います。

安田：そっか、それくらいはかかるんだね。

藤本 ー今後の目標は、なにかありますか？

山野：今後の目標、、そうだなあ。来年の広島の大会に出ることと、それに繋がってドイツに行くこと！  
私の中では、ドイツに行くことが最終の目標。

安田：ベルリンかな？

山野：そうそうベルリン！

安田：楽しみだね！コロナが落ち着いてくれれば。。

田中：まずは中止にならないことですね。

山野：うん、そうだね！

藤本：次、田中さん。



田中：そうですね、とにかく練習が長く続けてもらいたいというのもそうですけど、うーん。。そこまで深く考えたことはないですけど。あ、ひとつ思い出したことがあるんですが、僕のやっているテニスの連勝記録をのばそうかなって。

藤本：連勝記録?? 今まで勝ってたのは、最高はいくつなんですか？

田中：今の記録は、19連勝です。

一同：おお、すごい！

安田：俺には絶対無理だな（笑）。



田中：内訳は覚えてるんですよ！覚えてる試合の数は 20 試合なんですよ、シングルスになりますけど。シングルスで 20 試合で、デビュー戦の時に引き分けだったんです。テニスの予選だったんですけど、4 ゲームマッチでその試合は 2 対 2 で引き分けだったんですよ。

安藤：おお、なるほど！

田中：ゲームカウント数は、4 ゲームだったり 6 ゲームだったり。中には、試合の時間制限も含まれますけど。なので今、連勝記録のことは考えていますね！

藤本：田中さん、その時の試合は、何時間くらいやってたんですか？

田中：えっと、最初デビュー戦の時は競技会だったんですよ。4 年に 1 度の大会ではなくて、不定期で行われる大会で。細かく言いますと、先ほど言った通り予選は 1 勝 1 引き分けで、他の人の結果で、予選が 1 位になったんですよ。で、準々決勝が免除されて、準決勝からスタートして、その試合時間は覚えてないんですけど、決勝が終わった後に、記録係の人に聞いたら、25 分くらいって言ってましたね。これは 6 ゲーム先取の試合です。1 セットマッチです。

安藤：おお、すごいな。

安田 —SO だけで、将来の夢はありますか？

例えばアスリートアンバサダーになってみたいとか。世界大会のベルリンに行きたいとか。

田中：うーん。さっきの質問と、答えは同じになりますね。

安藤：連勝を目指して感じですね！



田中：交流も多くしたいなと思いますね。アスリートアンバサダーの皆さんって、けっこう交流しているイメージがありますので。

安田：(オンライン)ミーティングではみんな何回も会ってるんですけど、誰ひとりも実際には会ったことはないよね。愛史さんも里未さんもね。

藤本：そうですね。

安藤：ないないない！私たち iPad を使ってるんですけど、iPad のなかでしか会ったことはないです。

田中：そうなんですね！

安藤：実際。東京の事務局とかに行って会ったことは、コロナのせいでなかったですね。

安田：コロナ期間中に、このアスリートアンバサダーの活動が始まったので、実際に会って話し合うことはやったことなかったです。



安藤：だから、いろんな方にもインタビューもしたんですけど、そのインタビューの方も実際には会っていません。

田中：そうですか！

安田：じゃあ、山野さんどうぞ。

山野：うーん。私もさっきと同じ答えになるかな。

一同：ベルリンだね！

安田：俺もベルリンはいきたい！世界大会いきたい！愛史さんと山野さん以外は行ってないよね？

安藤：行ってない！ほんとにバスケでアメリカに行く予定だったけど、仕事の関係でいけなかったっていう経験があります。

安田：残念。。未経験なので、みんな頑張りましょう。

田中：ちょっとこれを機に、藤本さん、世界大会はやっぱりなんか違うんですか？全国大会とは。

藤本：全国大会とは違いますね。他の国とかと戦いますね。

田中：やっぱり、全国と世界と戦って、藤本さんは何を感じましたか？

藤本：力の差ですね。もうひとつは、身長のカサとかな。

田中：バスケありますよねほんとに。

藤本：ひとりが確か、2m 越えている人がいて。

田中：いますよね！この前、SONのYouTubeを見て、なんかバスケの特集の動画を見たんですよ。

藤本：あ、ほんと？

安田：ロサンゼルスのはつじゃないですか。

田中：ちょっと調べますね。2015年大会だ！ロサンゼルスですね！





## 安田 ー僕たちアスリートアンバサダーの第一印象は？

安田：今日の柔道オンラインイベント（11/20に開催したSON×三井住友海上女子柔道部の皆様とのイベント）で平岡さんが聞いておられたので、僕も聞こうと思って！

田中：パクリですね（笑）！そうですね、なんか会話楽しそうだなってということしかないですね！

安田：仲よさそうに見えますよね（笑）！

田中：実は安藤さんと話すのは、（同じSON・福岡ですが）今日が初めてなんです。

安藤：そうですね！プログラムが違うけん。私は、地区大会の開会式とかあったじゃないですか。あの時に、一度見かけたような。。顔をちょっと覚えているんですね。

田中：それって2017年ですよ？

安藤：何年の大会とかは覚えてないんですけど、

田中：大会は2回出たので、じゃあたぶん2013年のほうですね。なぜなら先ほども言ったんですけど、2017年に行われた福岡地区大会のテニス競技なんですけど、1日勝負によって開会式が参加できなかったんですよ。ですから、開会式なしの朝勝負になったんですよ。

安藤：ああ、そっか。テニスは競技が長引いたりしちゃうから、早めにやって早めに終わるってやらなきゃいけなかったですもんね。じゃあ、山野さんはどうですか？

山野：3人とも仲いいなって思います！

アンバサダー：（笑）！

安藤：やっぱり思うんだ（笑）！

藤本：思うんだ（笑）！

安田：仲いいのかな？いいんだろうね（笑）。この3人だからこそ。

田中：事務局の方との会話めっちゃ楽しそうでしたよ！

アンバサダー：（笑）！

安田：菜生さんもおしゃべりなんで（笑）！ね、里末さんね。菜生さんおしゃべりだよ（笑）

安藤：そうそうそう（笑）

安田：ね、愛史さんも楽しいよね！3人でこのアスリートアンバサダーやって、もう1年半くらいたつけど、正直やめたくない！ほんとにはみんな順番に回っていかないといけないからあれだけど、本当のこと言うとやめたくない！





安藤：うんうん。ちなみに田中さんと山野さんって、アンバサダーって私たちを見て経験したいと思いませんか？

田中：はい！

山野：うん！したい！

アンバサダー：おお！！よかった！ありがとうございます（拍手）！

安田：頑張ってきた甲斐があったわ！

安藤：どうかなって思ってたけど！私たちの印象がよかったならよかった！

田中：まだまだひろめていきたいですね！

安藤：ですねですね！やっぱりスペシャル（オリンピックス）のことを知らない子たちいっぱいいますからね。だから、私たちのアンバサダーの活動とか、もちろん他のコーチたちのサポートもそうですけど、それをしてひろめていけたらいいですね。ああでも、やりたいと思ってくれてるなら嬉しいな！

## 安田 ー僕たちアスリートアンバサダーになにか質問はありますか？



安田：質問されてばかりで疲れたと思うので！なんでもいいですよ！

安藤：答えられることだったら、答えられる範囲で答えます！

藤本：うん、なんでも！

田中：きますか（笑）！じゃあ質問返ししますね、勝負曲を教えてください！野球選手にもいますよね、例えばプロ野球選手が打席はいる時曲流れるじゃないですか。

山野：流れるね！

田中：流れますよね！あれだったら、例えば皆さんが試合前に会場から流れるとしたら、なんの曲にしたいかなと。

安田：ああ！自分の登場曲みたいな！DOBERMAN INFINITY（ドーベルマンインフィニティ）っていう、山野さんだったらもしかしたら知ってるかもしれないんですけど、LDHのグループなんで。

山野：うんうん。

安田：あのウィンターカップっていう、もうちょっとしたら今年もあるんですけど、バスケの全国大会で、2015年か2016年くらいの時に、そのDOBERMAN INFINITYっていうグループがいて、そのグループが歌っている「99」っていう歌があって、それが1番バスケやっている俺にぴったりなの！それを仕事終わりと、バスケ前には必ず聴くようにしてる！それが1番の俺の勝負曲かな。愛史さんは？

藤本：僕？！僕は、AKBともうひとつは、B'z！

一同：へえ！B'zね！



藤本：理由をいいますと、山Pがドラマで出ていて。

一同：ああ！ブザー・ビート！！

藤本：その時で、僕もバスケットに入ろうと思って、これかなと思いました。

安田：うんうん！里未さんはなんかありますか？

安藤：勝負曲、いつも聞いているようなやつは、YOASOBIの最近の曲なんですけど、「大正浪漫」っていうやつ。  
勝負曲ではないですけど、好きな曲ではあります！勝負曲はちょっと難しいかな。私、バスケットか乗馬の時は

あんまり何も音をいれないようにしてるから。

田中：じゃあ、周りが無観客状態みたいな感じですね！

安藤：そう、人の話は聞こえるけど、私のなかでは無観客にして、なんとか集中して大会に臨むっていう。

安田：なんか里未さんっぽいね！

安藤：そうかな（笑）？

安田：山野さんは、僕たちになにか質問はありますか？

山野：バスケット以外でなにかしたい競技はありますか？

安田：ああ、バスケット以外か。。バスケット以外だったら、バドミントンをちょっと学生の頃やってたので、バドミントンもありだなと思う。バドミントンもやってみたいけど、今、ちょっとさかのぼるけど、東京オリンピックでみんな見たと思うんですけど、3X3（スリー・エクス・スリー）っていう、バスケットの新競技があって。男子も女子も惜しかったんだけど、あれもSOで競技化できたらいいなって勝手に思ってる！

山野：うんうん！

安田：アスリートアンバサダーの企画で、渡邊拓馬さんと話している動画が（Youtubeに）上がってたと思うんだけど、あの時にも拓馬さんに、あぁしたい、こうしたいって言ったら、こうしたらいいよ！ってアドバイスをもらったから、今それを実現しようかなって頭のなかで思ってる！

安藤：おお、すごいな！

安田：でもね、今コロナの状況だから、なかなかできなくて困ってるところだけ。。ごめんね、僕が1番熱く話してるね（笑）。

一同：いやいやいや！



田中：めったにないですよ、こんなこと！

安田：たぶんみんなアスリートだから話しやすいんだろうね！

安藤：今日安田さんテンション上がってるもん！

一同：(笑)

田中：今日の柔道のイベントでエンジンが入ってますね！

安田：柔道のイベントの時とは全然違うと思うよ(笑)！みんなアスリートだからね、家族みたいなもんだから！

田中：第4弾で初めてですよ、アスリートは！

安藤：アスリートは今回が初めてです！今までは事務局の方、

ドリームサポーターさんおふたりだったので。今回4回目で初めてアスリート同士のやつをやってますね。

安田：これまでも楽しかったけど、今日が1番楽しい！

一同：(笑)

安藤：私がやりたいのは、今バスケと乗馬をやってるんです、馬の競技を。もし仕事の都合とかで大丈夫そうだったら、バドミントンとかテニスとか、ラケットを持つ系のスポーツをやってみたいなと思っています。

安田：ああ、卓球とか。

安藤：卓球は入らないかな！卓球はね、福岡多くいるから。

田中：多いんですよほんとに！練習場が多いんですよ！

安藤：多いですよ、田中さん。私たちのバスケとか乗馬の練習場は少ないんだけど、卓球だけは多いんですよ。

安田：いいなあ。島根も卓球あるんだけど、アスリートは少ないね、数えるほどしかいない。卓球はまだ初めてほやほやっていうのもあるんだけど。

安藤：あーなるほど。愛史さんはどうですか？

藤本：俺、ふたつあって、ひとつはサッカー。もうひとつは、陸上の4×100Mリレー。理由として言うと、びっくりするけど僕中学校の中で、50M走で3位になって。

一同：おお！それはすごいすごい！

田中：すみません、先ほど卓球の話をしてたんですけど、卓球は4会場になりますね。

安藤：あーそうだったそうだった。

安田：そんなにあるんだね！うらやましいわ。

田中：場所を言ってもいいですか。場所はですね、福岡市にある百道、福岡県久留米市、あと北九州市、



福岡市障害者スポーツセンターさん・さんプラザ、というところにあります。

安藤：そうそう。福岡に住んでいる人ならわかる場所なんだけどね（笑）百道は、主にレジャー施設なんだけど、そこでスポーツができる場所があって、そこでやってるんだと思う。で、さん・さんプラザも主にスポーツをやるレジャー施設。ということです、福岡の情報は以上です（笑）。

一同：（笑）

安田：ありがとうございます！

## 安田 ーよく見る Youtuber とか、SO 以外で Youtube を見たりしますか？

安田：これは、アスリートアンバサダーの愛史さんにも里未さんにも聞きたいんですが。  
愛史さんは見たりしますか？

藤本：僕は見てないですね。

安田：そっか、この間も見てないって言ってたもんね。ちなみに僕は、携帯の画面が擦り切れるくらいまで、めっちゃめっちゃ見ます。里未さんはどうです？

安藤：私も動画は見るけど、でも、そこまでは見ない。舞台俳優さんとか、舞台の方の声優さんとか、そういうのが出てたりして、時々1時間くらいあるけど、その1時間のやつを見たりとかはしてるかな。でも、応援しているという Youtuber さんはいない。

安田：いないんだ。じゃあ、田中さんはどうです？

田中：最近ハマっている Youtube 動画があるんですけど、みなさん東京五輪みられましたか？

一同：みました！

田中：その時の開会式に出ていた、ピクトグラム。

藤本・安田：あぁー！！

田中：あれ僕何回みても面白いんですよ！あれはずっと笑っていられました。あとは、ニュース系とか。

安田：なるほど。ありがとうございます。じゃあ、山野さんお願いします。

山野：えっと私は、自宅でできるトレーニングをやられている、竹脇まりなさんの「マリネス」を毎日みて、一緒に有酸素だったり、いろいろしてます！

安田：今のコロナ禍ならではの動画ですね！ちなみに僕はだれが好きかという、「フィッシャーズ」さんですね。みんな知ってるかな？

一同：うーん。。。



田中：なんか聞いたことはある気がします。

安田：知らない？まじか（笑）！じゃこれを機に終わったら見てみてください、おすすめなので！ちなみになんだけど、いろいろ障害者のスポーツにもスポットを当てていて、うちの競技でもあるボッチャだったり。あとは車いすバスケットだったり、ああいう動画も上げておられるので、時間があれば見てみてください。面白いですよ、めちゃくちゃ笑えます！大爆笑します。

山野：えーそんなに（笑）！

安田：そう、それを毎日画面が擦り切れるくらいまで見てます（笑）

山野：ふーん！！

田中：画面が擦り切れるというのはどういう（笑）

安田：見すぎてこと（笑）目が悪くなるくらい。。

田中：あ、見すぎてことなんですね（笑）。

安田：そうそうそう（笑）！家にもほぼ全部グッズがあるくらい大好き。

一同：えーすごい！！

安田：せっかくだから、見えるかな、？

～オンライン グッズ紹介タイム～

田中：これ完全にお宅訪問ですよ！

一同：（笑）

安藤：初めての在宅訪問（笑）！



## 藤本 ー好きな四字熟語はなんですか？

安田：でました！愛史さんの四字熟語がでましたよ（笑）！恒例の質問！

安藤：恒例ですね！今までの3回とも聞いてます！

藤本：（笑）。じゃあ、山野さん。

山野：えー四字熟語。。（笑）

安藤：四字熟語じゃなくても好きな言葉でもいいですよ！

山野：好きな言葉だったら、「今日もいい日だ！」。

一同：ああ！！いい言葉！



山野：でもそれを、座右の銘じゃないけどそういうのにしたのは、  
LiSA がそれをずっと言い始めて、そこからもらった感じ（笑）！

安藤・安田：あー！なるほど。

安田：あの人も、紅蓮華だったりで一気にぐーんと人気が出たアーティストだから。

山野：そうそう。

藤本：つぎ田中さん、どうぞ。

田中：はい、「勝強進歩」です！考えた理由はですね、勝てばモチベーションがあがって、さらにレベルが上がるんじゃないかなという気持ちで。

藤本：モチベーションか！

安田：ちなみに愛史さんはなんでしたっけ？好きな四字熟語。

藤本：百発百中とか、一期一会。

安田：おー！いいね！百発百中、たしかにバスケットにあう四字熟語ではある！どこでもスリーが入る、緑間真太郎（黒子のバスケットの登場人物）みたいに！

山野：そうそう、そうだね（笑）！

藤本：横断幕に書いてあった「不撓不屈」って書いてあった、あれ四字熟語かなと思ったけど、ちょっと違うかなと思って、自分では、百発百中かなと思いました。

## 安藤 SO 以外で日頃スポーツされていることはありますか？

安藤：例えば SO の休みがあるじゃないですか。なので SO 以外で、これを心がけているとかはありますか？

田中：なるべく、車を使わないようにしています。

安藤：あー歩きで??

田中：歩きで！とにかく運動。例えば、ごはんを食べに行きます、家までは車を使わずに歩いたりとか。あと練習場も。練習まで大体 1 時間くらい走ってから、練習して。

安藤：おお！！山野さんはありますか？

山野：なんだろう。。職場まで自転車通勤くらいかな。

安藤：なるほど！でもそれもいい心がけですよ！いい運動になりますし。

山野：うん、距離あるね（笑）

安藤：私も 1 回だけ自転車で会社まで行こうと思ったけど、離脱しました（笑）。

一同：（笑）。

安藤：どうにも坂が上れなくて（笑）。

安田：自転車は坂きついよね、わかる！





## 安田 ーおすすめの漫画はありますか？

藤本：まずひとつ目が「黒子のバスケ」！もうひとつは、「スラムダンク」。

安田：バスケ漫画だね！バスケ漫画といえばこの2作！

藤本：1番印象に残っている試合は、青林対海上の試合ですね！

安田：じゃ次、里未さん。

安藤：おすすめ？たぶん安田さんと違って、女性向けの漫画読んでるから難しいと思う。これがおすすめって言えるものがない、ごめんさない！

安田：じゃ次、田中さん。

田中：スポーツ系とかではないんですけど、コナンですね！

安藤：推理もの！

安田：青山剛昌先生、鳥取出身で有名ですね！じゃあ、山野さんありますか？

山野：「ハイキュー!!」と「あひるの空」と、「ダイヤのA（エース）」。今読んでるのだったら、「弱虫ペダル」、「呪術廻戦」、「東京リベンジャーズ」、あと「ブルーピリオド」！

安藤・安田：ああ！！

安田：僕は「switch」というバスケ漫画があって、タッチとストーリーが似ている部分があって、それがおすすめかな！読んでみてください！今までのインタビュー企画で全員におすすめしているから、おふたりもよかったら！

安藤：今まで3回やってるって言ったじゃないですか、3回ともそれ紹介してます（笑）。

安田：（笑）愛史さんの四字熟語と一緒にね（笑）！

藤本：（笑）

安藤：これでインタビューを終わらせていただきます。インタビューをやった感想を、私たちアンバサダーから言わせてもらいます。まずは、藤本さんからお願いします。

藤本：はい。今日はお忙しい中ありがとうございました。おかげで、インタビューを盛り上がったり、楽しんでくれたりありましたけど、これからもアスリートらしさ、自分らしさで頑張っていってください。本日はありがとうございました！

安田：おふたり今日はありがとうございました。たぶんアスリートアンバサダーの中で自分が超うるさかったと思うんですが、静かに聞いていただきありがとうございました。

田中：いえいえ、楽しかったです！



安田：それはよかったです。来年広島で、絶対みんなで会いましょう！  
楽しみにしています。ありがとうございました！楽しかったです！

安藤：本日はお仕事とかでお忙しい中、インタビューの企画ご参加いただきありがとうございました。アスリートにこうやって質問するのは、私は初めてだったので、どうかなと思ってやってみただけどすごく楽しい会になりました。また機会があればよろしくお願いします！ありがとうございました！

藤本：今日はインタビューありがとうございました。これからも一緒に頑張っていきましょう！本日はありがとうございました！

一同：ありがとうございました！（拍手）

